

SYSTEM AND METHOD FOR RECOMMENDING ARTICLE

Publication number: JP2001265852

Publication date: 2001-09-28

Inventor: HANAI ATSUSHI; NISHIMOTO MASAYUKI; OKOCHI FUSAKICHI; FUKUTOME TSUKASA; TORIKAI TATSUTO; HOSODA HIROSHI; SHIRAI YASUYUKI; SHINOHARA EIJI; NISHIDA AKIHIRO; MISUMI SACHIKO; TOZEN TAKUYA; ONO YOSHIAKI

Applicant: RICOH KK

Classification:

- International: G06Q30/00; G06Q50/00; G06Q30/00; G06Q50/00;
(IPC1-7): G06F17/60

- European:

Application number: JP20000073693 20000316

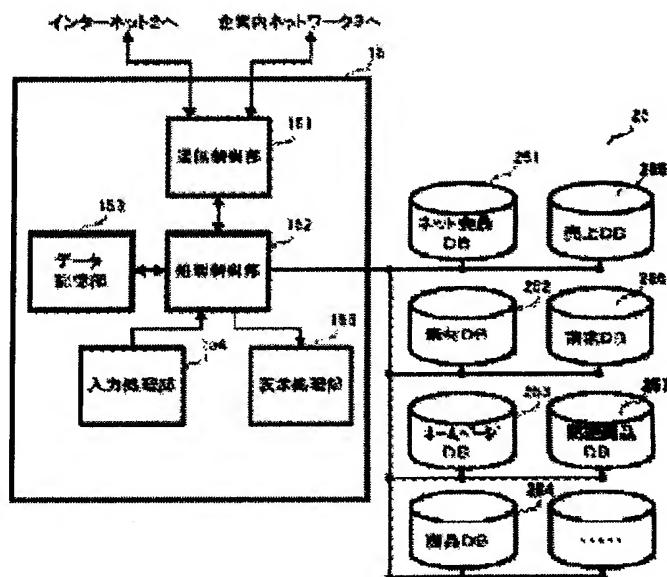
Priority number(s): JP20000073693 20000316

[Report a data error here](#)

Abstract of JP2001265852

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a network shopping system which contributes to prevention against an omission of article purchase and an unnecessary mispurchase.

SOLUTION: Information on a device that each customer has is stored in a DB 251. In a relative article DB 257, main bodies and options or articles, etc., which tend to be used at the same time, i.e., mutually relative articles, are stored while being made to correspond to each other. When a user inputs personal identification information for authentication in online shopping, retrieval from the DB 251 is carried out to specify the device that the user has. Then the relative article DB 257 is accessed to retrieve and recommend relative articles to the user.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-265852

(P2001-265852A)

(43)公開日 平成13年9月28日 (2001.9.28)

(51) Int.Cl.⁷
G 0 6 F 17/60

識別記号
Z E C

F I
C 0 6 F 15/21

データコード(参考)
3 3 0 5 B 0 4 9
Z E C Z

審査請求 未請求 請求項の数12 O.L (全 17 頁)

(21)出願番号 特願2000-73693(P2000-73693)

(22)出願日 平成12年3月16日 (2000.3.16)

(71)出願人 000006747
株式会社リコー
東京都大田区中馬込1丁目3番6号
(72)発明者 花井 厚
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内
(72)発明者 西本 昌之
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内
(72)発明者 大河内 房吉
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内

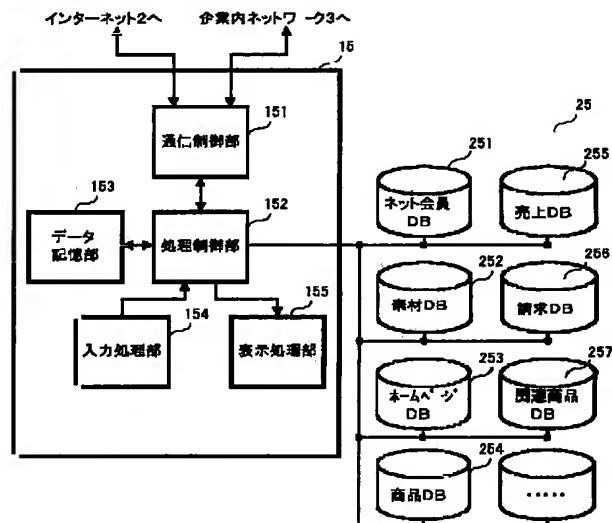
最終頁に続く

(54)【発明の名称】商品推奨システム及び方法

(57)【要約】

【課題】商品の購入漏れや不要な誤購入の防止に寄与するネットワークショッピングシステムを提供する。

【解決手段】各顧客が所有している機器の情報をDB251に記憶させる。本体とオプション、或いは、同時に使用される傾向のある商品等、相互に関連する商品とを対応付けて関連商品DB257に記憶させておく。オンラインショッピングで、ユーザが、認証処理のための個人識別情報を入力すると、DB251を検索して、このユーザが所有している機器を特定する。次に、関連商品DB257をアクセスし、関連商品を検索し、ユーザに推薦する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】顧客の所有する商品を記憶する顧客データベースと、商品とその商品に関連する他の商品とを対応付けて記憶する関連情報記憶手段と、顧客を指定して、該顧客の所有する商品を、前記顧客データベースから索出する所有商品索出手段と、前記所有商品索出手段が索出した商品に関連する商品を前記関連情報記憶手段に記憶された情報から検出する関連商品索出手段と、前記関連商品索出手段が索出した商品の購入を推奨する推奨手段と、を備え、商品購入時に関連商品を推奨可能としたことを特徴とする商品推奨システム。

【請求項2】前記顧客データベースは、各顧客に対する販売価格の割引率に対応する割引情報を記憶しており、前記推奨手段は、前記顧客データベースに登録されている割引情報に対応する割引率を反映した態様で商品を推奨する、ことを特徴とする請求項1に記載の商品推奨システム。

【請求項3】ネットワークを介して送信される識別情報を受信し、該識別情報に基づいて、ログインを受け付ける手段と、受信した識別情報に基づいて、顧客を特定する手段と、を備え、

前記所有商品索出手段は、受信した識別情報から顧客を特定し、特定した顧客の所有する商品を前記顧客データベースから索出する、ことを特徴とする請求項1又は2に記載の商品推奨システム。

【請求項4】各顧客の商品購入情報を入力する手段と、商品購入情報に基づいて、前記顧客データベースに、その顧客が所有する商品を追加する手段と、を備える、ことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の商品推奨システム。

【請求項5】前記関連情報記憶手段は、複数の商品と、各商品でオプションとして使用されるオプション商品及び／又は前記商品で消耗される消耗品とを対応付けて記憶しており、顧客が所有する商品のオプション商品及び／又は消耗品を推奨する、ことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の商品推奨システム。

【請求項6】販売履歴を記憶する販売履歴記憶手段と、前記販売履歴記憶手段に記憶された販売履歴に基づいて、同時に購入される確率が基準以上の商品の関係を前記関連情報記憶手段に記憶させる手段と、をさらに備える、ことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の商品推奨システム。

【請求項7】前記販売履歴記憶手段は、店舗及び／又は販売員により同時に販売された商品と、ネットワークを介した注文に応じて同時に販売された商品との両方の販

売履歴を記憶する、ことを特徴とする請求項6に記載の商品推奨システム。

【請求項8】オンラインショッピングシステムにおいて、顧客に関する情報を記録する顧客データベースと、販売店での取引時の価格割引率に対応する割引情報を前記顧客データベースに登録する手段と、顧客に購入対象として提示する商品の価格を、前記顧客データベースに設定されている割引情報を反映した値に設定する価格設定手段と、を備え、

販売店を介した取引での割引率をオンラインショッピングに反映可能としたことを特徴とするオンラインショッピングシステム。

【請求項9】複数の商品について、相互の関連情報を定義し、

各顧客が所有する商品を示す顧客情報を記憶し、ネットワークを介したアクセスに応答して、アクセス元の顧客を特定し、特定した顧客が所有する所有商品を前記顧客情報から特定し、

特定した所有商品の関連商品を前記関連情報から判別し、

判別した関連商品を、ネットワークを介して提示し、前記提示に対応する申込みを受け付ける、ことを特徴とする商品推奨方法。

【請求項10】販売店での取引での価格割引率に対応する割引情報を登録し、

ネットワークを介したアクセスに応答して、アクセス元の顧客を特定し、

特定した顧客に提供する商品の価格割引率を、前記割引情報から特定し、

ネットワークを介して、顧客に購入対象として提示する商品の価格を、特定した価格割引率を反映した値に設定する、ことを特徴とする方法。

【請求項11】コンピュータを、顧客の所有する商品を、顧客の所有商品を記憶する顧客データベースから索出する所有商品索出手段、前記所有商品索出手段が索出した商品に関連する商品を、商品とその商品に関連する他の商品とを対応付けて記憶する関連情報データベースから索出する関連商品索出手段、

前記関連商品索出手段が索出した商品の購入を顧客に推奨するための信号を出力する推奨手段、

として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項12】コンピュータを、オンラインショッピングシステムにおけるサーバの、ネットワークを介したアクセスに応答して、アクセス元の顧客を特定する手段、

特定した顧客に提供する商品の割引率を、販売店を介した取引での価格割引率に設定する手段、ネットワークを介して、顧客に購入対象として提示する商品の価格を、設定した価格割引率を反映した値に設定して顧客に提示するための信号を生成する手段、として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、関連商品を顧客に推奨するシステム及び方法に関する。また、本発明は、オンラインショッピングシステム及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットの発展に伴って、オンラインショッピングなども急速に拡大しつつある。通常の、オンラインショッピングは、商品を販売しているホームページを訪問し、ホームページ上で商品を選択し、決済情報を入力することによって行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のオンラインショッピングでは、ユーザが、購入商品を自ら決定し、不案内なホームページ上で、購入商品を探し出して、注文する必要がある。しかし、一般的のユーザが全ての商品とそのホームページについて十分な知識を有する訳ではない。例えば、ある商品を購入する際に、その商品のオプションや消耗品を同時に購入する必要がある場合や同時に購入する方が望ましい場合でも、気づかず、注文しない場合がある。逆に、本来必要な無いものを、誤って注文することもある。

【0004】また、注文する商品を決定しても、場合により、その商品をホームページ上で、発見するのが困難なことがある。

【0005】販売店・訪問販売などでは、このような場合に、アドバイスをうけることが可能である。しかし、前述のようにオンラインショッピングでは、このようなサービスをうけることができず、結果として、オンラインショッピングを不便なものとしている。また、販売店・訪問販売でのアドバイスも、属人的であり、高品質で均質なアドバイスを受けることは困難であった。

【0006】さらに、通常の販売網を有する事業者であっても、一般的の販売網（販売店網、サービス店網）で得られた情報と、オンラインショッピングで得られた情報とが有機的に連結されておらず、情報の活用が不十分であった。

【0007】また、オンラインショッピングでの、決済手法は、クレジットカード又は振り込みである。一方、通常の事業取引での決済手法は、手形、現金、振り込みなどが主流であり、事業者の決済上、会計処理が複雑になるという問題がある。

【0008】この発明は、上記実状に鑑みてなされたも

のであり、利便性の高いオンラインショッピングシステムを提供することを目的とする。また、この発明は、顧客情報を有効に活用しうるオンラインショッピングシステムを提供することを目的とする。さらに、この発明は、決済を効率的に行いうるシステムを提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、この発明の第1の観点にかかる商品推奨システムは、顧客の所有する商品を記憶する顧客データベースと、商品とその商品に関連する他の商品とを対応付けて記憶する関連情報記憶手段と、顧客を指定して、該顧客の所有する商品を、前記顧客データベースから索出する所有商品索出手段と、前記所有商品索出手段が索出した商品に関連する商品を前記関連情報記憶手段に記憶された情報から検出する関連商品索出手段と、関連商品検索手段が索出した商品の購入を推奨する推奨手段と、を備え、商品購入時に関連商品を推奨可能としたことを特徴とする。

【0010】この発明によれば、任意の顧客について、顧客が所有している商品を顧客データベースから判別し、その商品に関連する他の商品を関連情報記憶手段から索出し、顧客に関連商品の購入を提案できる。従って、例えば、ある複写機を所有している顧客に、その機種に適合するトナーやオプションを簡単に提示できる。

【0011】前記顧客データベースは、例えば、各顧客に対する販売価格の割引率に対応する割引情報を記憶しており、前記推奨手段は、前記顧客データベースに登録されている割引情報に対応する割引率を反映した態様で商品を推奨してもよい。

【0012】例えば、オンラインショッピングシステムの場合には、ネットワークを介してのログインを受け付ける手段と、ログイン時にログイン情報に基づいて、顧客を特定する手段と、を配置し、前記索出手段が、ログイン時に入力された識別情報に基づいて顧客を特定し、特定した顧客の過去の購入商品を顧客データベースから索出するように構成してもよい。

【0013】各顧客の商品前記購入情報を入力する手段と、購入情報に基づいて、前記顧客データベースに、その顧客が所有する商品を追加する手段と、を配置してもよい。

【0014】前記記憶手段が、例えば、複数の商品と、各商品でオプションとして使用されるオプション商品及び／又は前記商品で消耗される消耗品とを対応付けて記憶し、顧客が所有する商品のオプション商品及び／又は消耗品を推奨するようにしてもよい。

【0015】販売履歴を記憶する販売履歴記憶手段と、前記関連決定手段は、前記販売履歴記憶手段に記憶された販売履歴に基づいて、同時に購入される確率が基準以上の商品の関係を前記関連情報記憶手段に記憶させる手

段を配置してもよい。

【0016】前記販売履歴記憶手段は、例えば、店舗及び／又は販売員により同時に販売された商品と、ネットワークを介した注文に応じて同時に販売された商品との両方の販売履歴を記憶する。

【0017】また、この発明の第2の観点にかかるオンラインショッピングシステムは、顧客に関する情報を記録する顧客データベースと、販売店での取引時に顧客に販売する商品の価格の割引率に対応する情報を前記顧客データベースに登録する手段と、顧客に購入対象として提示する商品の価格を、前記顧客データベースに設定されている割引情報を反映した値に設定する価格設定手段と、を備え、販売店を介した取引時の割引率をオンラインショッピングに反映可能としたことを特徴とする。

【0018】この手法によれば、店舗を介した取引を行っている顧客がオンラインショッピングで商品を購入する場合に、店舗取引での割引率が反映される。従って、店舗取引とオンラインショッピングとの融合の一助となりうる。

【0019】また、この発明の第3の観点にかかる商品推奨方法は、複数の商品について、相互の関連情報を定義し、各顧客が所有する商品を示す顧客情報を記憶し、ネットワークを介したアクセスに応答して、アクセス元の顧客を特定し、特定した顧客が所有する所有商品を特定し、特定した所有商品の関連商品を判別し、判別した関連商品を、受け付けた商品との関連を示して、ネットワークを介して、アクセス元に提示し、前記提示に対応する、アクセス元からの申し込みを受け付ける、ことを特徴とする。

【0020】また、この発明の第4の観点にかかる方法は、販売店を介した取引時に顧客に販売する商品の価格の割引率に対応する顧客情報を登録し、ネットワークを介したアクセスに応答して、アクセス元の顧客を特定し、特定した顧客に提供する商品の割引率を、顧客情報から特定し、ネットワークを介して、顧客に購入対象として提示する商品の価格を、特定した割引率を反映した値に設定する、ことを特徴とする。

【0021】また、この発明の第5の観点にかかるコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、コンピュータを、顧客の所有する商品を、顧客の所有商品を記憶する顧客データベースから索出する手段、索出した商品に関連する商品を、商品とその商品に関連する他の商品とを対応付けて記憶する関連情報データベースから索出する手段、関連商品検索手段が索出した商品の購入を顧客に推奨するための信号を出力する推奨手段、として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とする。

【0022】また、この発明の第6の観点にかかるコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、コンピュータを、オンラインショッピングシステムにおけるサーバの、ネットワークを介したアクセスに応答して、アクセス元の

顧客を特定する手段、特定した顧客に提供する商品の割引率を、販売店を介した取引時に顧客に販売する商品の価格の割引率に対応する顧客情報が登録されている顧客データベースから索出する手段、ネットワークを介して、顧客に購入対象として提示する商品の価格を、索出した割引率を反映した値に設定するして顧客に提示するための信号を生成する手段、として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とする。

【0023】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態にかかる販売システムを説明する。以下、図面を参照して、この発明の実施の形態にかかるシステムを説明する。このシステムは、既存の販売店網を維持・発展しつつネットワークショッピングサービスを推進可能とするシステムである。

【0024】図1は、この発明の第1の実施の形態にかかるネットワークシステムの構成を模式的に示す。

【0025】図1に示すように、このシステムは、企業・団体などの事業体が保有する企業内ネットワークシステム1と、公衆に開かれたインターネット2と、インターネット2に接続されたクライアント端末（顧客の端末）31（31₁～31_n）から構成される。

【0026】企業内ネットワークシステム1は、イントラネットなどから構成され、企業内ネットワーク（LAN、WAN）3を介して相互に接続された、複数の店舗端末11（11₁～11_m）と、店舗DB21（21₁～21_m）と、管理サーバ13と、管理DB23と、ショッピングサーバ15と、ショッピングDB25とから構成される。

【0027】店舗端末11は、この事業体が保有する又は契約した販売店、サービス店等に設置され、各店舗の業務を処理するための端末である。各店舗DB（データベース）21は、各店舗が、自店舗の業務を処理するためのDBである。店舗端末11と店舗DB（データベース）21とは、図2に示す構成を有する。店舗端末11は、図2に示すように、通信制御部111と、処理制御部112と、データ記憶部113と、入力処理部114と、表示処理部115とを備えている。

【0028】通信制御部111は、処理制御部112の制御により、企業内ネットワーク3を介して各種の情報を送受信するためのものである。

【0029】処理制御部112は、入力処理部114から入力された指示に従って、通信制御部111を介して通信を行い、又、店舗内の業務に関する各種の情報を処理する。また、処理制御部111は画像情報を作成し、表示処理部115に供給する。

【0030】データ記憶部113は、半導体メモリ、磁気ディスク記録装置等から構成され、各種の情報やプログラムを記録する。

【0031】入力処理部114は、キーボード、ポイン

ティングデバイス等から構成され、指示やデータを入力するためのものである。

【0032】表示処理部115は、ディスプレイ装置、ビデオメモリ等から構成され、処理制御部112から供給された画像情報に従った画像を表示して、情報等を提示（出力）する。

【0033】一方、店舗DB211は、顧客DB211と、売上DB212と、請求DB213とを備える。

【0034】顧客DB211は、図3(a)に示すように、自店舗の顧客に関する基本情報が設定されているDBであり、顧客ID、名称、住所、法人／個人の別、顧客区分、営業担当者、推奨商品、担当メッセージなどの情報を記憶する。ここで、顧客IDは、顧客の識別情報であり、顧客別にユニークな情報が設定されている。顧客区分は、その顧客の優良度を示す。顧客区分に応じて、その顧客への商品価格の割引率やクーポンが定まる。顧客区分は、例えば、営業担当者が設定する。お奨め商品は、担当者がその顧客に推奨したい商品などを設定する。また、営業担当メッセージは、各顧客の担当営業員からのショートメッセージを設定する。

【0035】売上DB212は、図3(b)に示すように、販売した商品の、商品コード、数量、単価、購入者コード、営業担当コード、等を1回の商取引を単位として記憶する。1回の商取引を単位として売上情報が記録されているので、同時に購入された商品（商品群）を判別することが可能である。

【0036】請求DB213は、図3(c)に示すように、1ヶ月分の請求情報を蓄積し、請求書を発行するためのDBであり、顧客別に、販売日、販売商品、数量、単価（提供価格）、担当者（法人の場合）、等の情報が設定される。なお、このシステムでは、法人がインターネットを用いたオンラインショッピングにより商品を購入した場合にも、担当する店舗で一括して請求書を発行する。そこで、オンラインショッピングでの販売についても、同様の情報が設定され、さらに、オンラインショッピングでの販売であることを示すフラグ（ネット？YES、NO）が設定される。

【0037】図1に示す管理サーバ13と管理DB23とは、事業体全体の業務を処理するためのコンピュータシステムである。管理サーバ13は、図4に示すように、通信制御部131と、処理制御部132と、データ記憶部133と、入力処理部134と、表示処理部135とを備えている。通信制御部131と、処理制御部132と、データ記憶部133と、入力処理部134と、表示処理部135との構成及び機能は、基本的に、店舗端末11の通信制御部111と、処理制御部112と、データ記憶部113と、入力処理部114と、表示処理部115との構成及び機能と同様である。ただし、処理制御部132の機能は、事業体全体の管理事業を処理するための機能に特化されている。

【0038】一方、管理DB23は、この事業体全体の様々なデータを集計・管理するためのものであり、図4に示すように、商品マスタDB231と、顧客マスタDB232と、関連商品マスタDB233と、売上マスタDB234と、を備えている。

【0039】商品マスタDB231は、図5(a)に示すように、この事業体が取り扱っている全商品の商品コード、商品名、商品説明内容、基準単価、商品区分、リンク情報などが記録されている。

【0040】ここで、商品区分とは、その商品が、「本体」、「オプション」、「消耗品」のいずれに属するかを示す情報である。「本体」とは、通常、単独で使用される主要商品を意味する。「オプション」とは、通常、単独で使用されることなく、本体に装着・接続されて使用される商品を意味する。「消耗品」とは、通常、単独で使用されることなく、本体又はオプションに装着され、使用に伴って量が減少するものを意味する。例えば、コピー機を例に取ると、コピー機自体が本体、コピー機に装着されて使用されるフィーダ、ソータ、通信装置、電源装置がオプション、トナーやPPC用紙が消耗品となる。また、デジタルカメラを例に取ると、カメラ自体が本体、カメラとパーソナルコンピュータを接続するケーブル及び通信ソフトがオプション、画像を蓄積するフラッシュメモリカードや電池が消耗品となる。

【0041】リンク情報とは、他の商品区分で、その商品に使用可能なものが登録されている。例えば、「本体」であれば、その本体に適合するオプションや消耗品の商品コードが登録されている。同様に、「オプション」であれば、そのオプションが適合する本体の商品コードや、そのオプションに適合する消耗品の商品コードが登録されている。また、「消耗品」であれば、その消耗品が適合する本体やオプションの商品コードが登録されている。図5(a)の例では、本体である商品コードA123の商品に使用できる消耗品として、C203が挙げられている。従って、商品コードC203のリンク情報には、適合する本体としてA123が挙げられている。

【0042】この商品区分及びリンク情報により、各商品がいずれかの商品区分に分類され、さらに、適合関係にある商品同士がリンク付けされる。これにより、例えば本体の機種を指定すれば、その本体に適合するオプション又は消耗品を特定するという形式で、商品を選択・指定することも可能であり。また、商品区分を特定し、その商品区分内で、ある商品に適合する商品を選択・指定することも可能となる。

【0043】顧客マスタDB232は、この企業の全顧客に関する顧客情報を記録する。その内容は、図5(b)に示すように、図3(a)に示す顧客DB211と類似である。ただし、各顧客が所有している商品（装置）の情報も記録している。

【0044】関連商品マスタDB233は、図5(c)に示すように、同時に購入される可能性の高い、或いは、同時に購入することが望ましい商品等を記録する。

【0045】例えば、ある商品とその商品のオプション及び消耗品とは関連があると考えられる。また、例えば、デジタルカメラを購入した際に、撮影した画像を編集・加工するためのソフトウエアや加工した画像を印刷するためのプリンタを購入することが望ましい。従って、これらの商品は関連ある商品である。このように、予め関連が明確な場合には、関連する商品に関する関連情報を、担当者が入力処理部134より関連商品マスタDB233の領域233Aに設定する。

【0046】一方、このシステムの担当者が関連に気づかない場合でも、多くの人が商品を購入する際に、同時に購入する商品は、同時に購入する方が望ましいものである場合が多い。そこで、処理制御部132が、過去の販売履歴をチェックし、同時に販売されている割合が所定値、例えば、5%を越える場合には、この関連商品マスタDB233の領域233Bに両商品の関連を示す関連情報を登録する。

【0047】売上マスタDB234は、この事業体全体の売上に関する情報が設定されており、全店舗の売上データを集積したものとなる。その構造は、基本的に図3(b)に示す各店舗の売上DB212の構成と同一であり、1回の商取引を単位とした売上情報が登録される。従って、売上マスタDB234の内容から、同時に販売された商品を判別することができる。

【0048】図1に示すショッピングサーバ15とショッピングDB25とは、インターネットを介したネットワークショッピング（オンラインショッピング）を処理するためのシステムであり、図6に示す構成を有する。

【0049】ショッピングサーバ15は、図6に示すように、通信制御部151と、処理制御部152と、データ記憶部153と、入力処理部154と、表示処理部155とを備えている。

【0050】通信制御部151と、処理制御部152と、データ記憶部153と、入力処理部154と、表示処理部155との構成及び機能は、基本的に、店舗端末11の通信制御部111と、処理制御部112と、データ記憶部113と、入力処理部114と、表示処理部115との構成及び機能と同様である。ただし、処理制御部152の機能は、オンラインショッピング用のホームページの運営、売り上げ処理などの機能に特化している。

【0051】ショッピングDB25は、図6に示すように、ネット会員DB251と、素材DB252と、ホームページDB253と、商品DB254、売上DB255と、請求DB256と、関連商品DB257を備える。

【0052】ネット会員DB251は、オンラインショ

ッピングの会員（ネット会員）に関する情報を記録するデータベースであり、図7に示すように、ID、氏名・名称、住所、法人／個人の別、メールアドレス、パスワード、所有機器が設定される。さらに、法人の場合には、顧客区分、営業担当（店舗+担当者）、お奨め商品、営業からのメッセージ等が設定される。IDは、会員の識別情報である。法人の場合、IDは、販売店・サービス店で使用しているIDと同一のIDが使用される。名称と住所は、その会員の氏名・名称と住所・所在地である。メールアドレスは、会員の電子メールのアドレス（E-mailアドレス）である。パスワードは、会員がオンラインショッピングサービスにログインするためのパスワードである。

【0053】法人会員にあっては、法人内の各担当者（例えば、総務部や購買部の人）のメールアドレスとパスワードが登録される。所有機器は、その会員が所有している装置（本体）の情報である。オンラインショッピングのみで店舗での取引を行っていない会員の場合は、過去にオンラインショッピングで販売した商品が設定される。一方、店舗での取引を併用している法人会員については、店舗での販売とオンラインショッピングでの販売との両方の履歴に基づいて、所有機器の情報が設定される。担当者の数は、複数でもよく、担当者数に応じた数のメールアドレスとパスワードとの組が設定される。また、法人の場合に設定される、顧客区分、営業担当、お奨め商品、営業からのメッセージは、店舗DB21の顧客DB211に設定されているものと同一の情報が設定される。

【0054】素材DB252は、ホームページを生成するための様々な素材の画像を記憶する。例えば、各営業担当員の顔画像、商品の画像、キャッチフレーズ、各種フォームなどを記憶する。

【0055】ホームページDB253は、オンラインショッピングサービスを提供するために、必要となる様々なホームページを記憶する。商品DB254は、このオンラインショッピングで扱う商品のデータベースであり、商品マスタDB231と同様の構成を有する。売上DB255は、各店舗の売上DB212（図3(b)）と同様の構成であり、取引単位で売上情報が登録される。請求DB256は、オンラインショッピングでの販売に関する請求データを記憶する。このシステムでは、法人会員への請求は、オンラインショッピングでの売上であっても、担当営業店からの請求書で行われる。従って、請求DB256には、個人会員の請求情報のみが登録される。

【0056】関連商品DB257には、管理DB23の関連商品マスタDB233に登録されている関連商品情報のうち、オンラインショッピングサービスで取り扱っている商品に関する情報のみが複製される。

【0057】（動作）次に、上記構成のシステムを用い

た日々の事業活動について説明する。

(販売店での動作) 各販売店の、営業担当者は、日々、顧客とコンタクトを取り、商品を販売すると共に新規顧客を開拓する。

【0058】新たな売上(注文)が発生すると、販売店の担当者は、店舗端末11より、売上(注文)内容を店舗DB21内の売上DB212に登録する。この際、1回の商取引で取引された複数の商品については、1つの取引番号を設定する。また、新たな顧客が営業員により開拓された場合には、その顧客に関する情報を顧客DB211に登録する。

【0059】営業担当者は、自己が担当する法人について、その法人の顧客区分(顧客優良度)や、その顧客の特性に適したお奨め商品、顧客へのメッセージなどを適宜設定する。

【0060】管理サーバ13は、例えば、深夜などに、各販売店の店舗DB21及びショッピングDB25にアクセスし、更新された情報(差分データ)を読み出し、管理DB23を更新する。

【0061】例えば、当日の売上を売上マスタDB234に登録する。また、この売上により、各顧客の所有する主な装置(商品区分が主商品に相当する商品)が増加した場合には、顧客マスタDB232上の「所有商品」の欄に追加する。また、顧客情報が変化していたり、新たな顧客が発生している場合にも顧客マスタDB232を更新する。

【0062】また、管理サーバ13は、各店舗の顧客DB211から収集した、法人顧客の顧客区分、お奨め商品、営業担当メッセージ等をショッピングサーバ15を介してショッピングDB25内のネット会員DB251に設定する。さらに、管理サーバ13は、更新した売上マスタDB234の内容から、関連商品情報を生成し(生成手法については後述する)、関連商品マスタDB233に設定する。さらに、更新した関連商品情報のうち、オンラインショッピングに関連する情報のみを、ショッピングサーバ15を介して、関連商品DB257に記録する。

【0063】(オンラインショッピングサービス)
(事前登録) 法人顧客がオンラインショッピングサービスを利用するためには、事前に営業店舗などで登録を受ける必要がある。法人顧客は、営業担当者などを介して、オンラインショッピングへの登録を、担当者を特定して申し込む。一法人について、担当者は複数人でもよく、人數分のメールアドレスとパスワードとの組を特定する。登録申込書に記載された情報は、ショッピングサーバ15の管理者に回送され、例えば、図7に示すネット会員DB251に登録される。また、顧客区分等の情報については、各営業店でのサービスとの整合性を取るため、営業担当者により決定された値に設定される。これらの処理は、各店舗の営業担当者とショッピングサー

バ15の管理者の間で連絡を取り合って、実行される。

【0064】一方、個人顧客は、自己のクライアント端末31から、図示せぬISP(インターネットサービスプロバイダ)とインターネット2とを介して、ショッピングサーバ15が運営するサイトの会員登録用ホームページにアクセスする。そして、この会員登録用ホームページで、メールアドレス、住所・氏名、支払い方法などの登録を行う。登録した個人には、パスワードが発行される。ショッピングサーバ15は、これらの情報に会員IDを付して、ネット会員DB251に登録する。

【0065】(オンラインショッピングの動作) 次に、実際にオンラインショッピングを行う場合の動作を説明する。任意のユーザが自己のクライアント端末31から、インターネットを介してショッピングサーバ15が提供するホームページのログイン画面にアクセスすると、ショッピングサーバ15は、図8に示すようなページ(HTML形式の情報)をホームページDB253から読み出してクライアント端末31に送信する。

【0066】このページは、上段のフレームにログイン名(登録したメールアドレス)、パスワード、法人IDを入力する入力欄が配置され、下段に、システムが定めた推奨商品の広告が表示された構造を有している。

【0067】ユーザは、この画面上で必要事項を入力し、「送信」をクリックする。即ち、ユーザが個人の場合には、メールアドレスとパスワードを入力し、送信をクリックする。ユーザが法人の場合には、担当者のメールアドレスとパスワードと、法人IDとを入力する。ユーザが必要事項を入力し、「送信」をクリックすると、インターネット2を介して入力事項がショッピングサーバ15に通知される。

【0068】ショッピングサーバ15は、通知に応答し、図9の処理を開始し、まず、入力された情報がネット会員DB251に登録されているか否かを判別する(ステップS11)。

【0069】なお、法人ユーザの場合には、法人IDが登録されており、かつその法人IDに、入力されたメールアドレスとパスワードの対が設定されていることが必要である。これにより、法人とその担当者とが特定される。登録されていなければ、登録手続を案内するページの(図示せず)の情報(HTML文書)をクライアント端末31に送信し、クライアント端末31に表示させる(ステップS12)。

【0070】一方、登録されている場合には、ネット会員DB251から、この顧客を担当している営業店の営業担当者と、顧客区分と、所有機器と、推奨商品と、営業担当メッセージとを読み出す(ステップS13)。次に、素材DB252から、ステップS13で判別した営業担当者の画像及び推奨商品のイメージ画像を読み出す(ステップS14)。

【0071】次に、ステップS13で読み出した所有機

器に関する情報と、関連商品DB257に記録されている関連情報とから、ログインした会員が所有する機器に適合する消耗品を判別し、さらに、該消耗品に関する情報を素材DB252から読み出す。さらに、ステップS13で読み出した顧客区分に対応する割引率dを求め、割引率を考慮した提供価格(基準単価×(1-d))を求める(ステップS15)。

【0072】次に、これらの情報を配置して、図10に示すようなHTML文を形成し、クライアント端末31に送信して表示させる(ステップS16)。

【0073】図10に示すページは、左上、左下、右上、右下の4つのフレームに分割されており、左フレームの上段に、このサイトの目次が配置され、下段にこの会員を担当している営業担当者に関する情報が表示され、右フレームの上段に営業担当者から顧客へのメッセージが配置され、その下に営業担当者が顧客におすすめする商品の画像が提示されている。さらに、右フレームの下段には、顧客が所有している装置の消耗品に関する情報(提供価格を含む)が表示(消耗品の推奨)される。

【0074】会員はこのページ上で或いは任意のページにジャンプして、ショッピングカートモデルを用いて必要な商品を購入することができる。例えば、図10に示すページの右フレームで推奨商品として表示されている消耗品のなかから任意のものを選択すると、ショッピングサーバ15は、その商品をいわゆるショッピングカートに追加する。

【0075】また、ユーザが本体を購入したい場合には、左フレームの「本体」をクリックする。「本体」の文字列は、HTML技術により、図11に示すような本体をカテゴリ別に一覧表示するページにリンクしており、表示はこのページにジャンプする。さらに、ユーザが、いずれかのカテゴリ(商品カテゴリ)を選択すると、ショッピングサーバ15は、図12に示すように、具体的な商品の説明とこの顧客への提供価格(基準価格×(1-割引率))を表示するためのページを生成し、クライアント端末31に送信し、表示させる。

【0076】同様に、「オプション」又は「消耗品」を購入したい場合には、ユーザは、図10に示すページの左フレームの「オプション」又は「消耗品」をクリックする。すると、図13又は14に示すような「オプション」又は「消耗品」を取り扱うページにジャンプする。さらに、カテゴリを選択すると、図15に示すように本体商品の一覧が表示される。いずれかを選択すると、図12と同様に、ショッピングサーバ15は、このカテゴリに属する商品とその説明と基準価格を商品DB254から索出する。次に、ステップS13で求めておいた、顧客区分から割引率dを求め、各商品の説明とこの顧客への提供価格(基準価格×(1-割引率))を求める。次に、素材DB252から読み出した各商品の情報と求

めた提供価格とを合成して、図12に示すような形式のページを生成し、クライアント端末31に送信し、表示させる。

【0077】このように、ユーザが自己の望む商品(主に、オプション又は消耗品)に辿り着くルートは複数用意されている。

【0078】第1のルートは、商品区分を選択する(図10左フレーム)→本体のカテゴリ(本体の商品種別)を選択する画面(図13)が表示される→カテゴリを選択する→そのカテゴリに属する本体の機種の一覧が表示される→機種を選択する→その機種に適合し、かつ、選択された商品区分に属する商品の一覧が表示される→商品選択、というルートである。

【0079】第2のルートは、商品区分を選択する(図10左フレーム)→その商品区分に属する商品のカテゴリ(商品種別)を選択する画面(図14)が表示される→カテゴリを選択する→そのカテゴリに属する商品の一覧が表示される→商品選択、というルートである。

【0080】第3のルートは商品区分として本体を選択する(図10左フレーム)→カテゴリを選択する→本体の一覧が表示される→適当な本体を選択して、商品区分」を指定する→本体に適合するオプション又は消耗品の一覧が表示される→商品選択というルートである。

【0081】第4のルートは、商品区分を選択する(図10左フレーム)→本体のカテゴリ(本体の商品種別)を選択する画面(図11)が表示される→カテゴリを選択する→そのカテゴリに属する本体の機種の一覧が表示される(図12)→任意の機種について、従属商品の商品区分(オプション又は消耗品)を選択する→選択された機種に適合し、指定された商品区分に属する商品の一覧が表示される→商品選択、というルートである。

【0082】第5のルートは、商品コード(商品名でもよい)を指定する方法である。所定の入力枠に商品コードを入力し、「検索」をクリックすると、ショッピングサーバ15が商品DB254から該当する商品を索出して表示する。

【0083】いずれかの画面上で、ユーザが任意の商品をショッピングカートに入れた(即ち、購入の意志を示した)とする。この操作に応答して、ショッピングサーバ15は、図16の処理を開始し、まず、カートに入れられた商品が、関連商品DB257に登録されているか否かを判別する(ステップS21)。登録されていなければ、そのまま処理を終了する。

【0084】一方、登録されていれば、ショッピングカートに入れられた商品に関連付けられている商品を判別し(ステップS22)、この商品の画像データ等を素材DB252から読み出し、さらに、提供価格を計算し(ステップS23)、さらに、表示画像を形成して表示する(ステップS24)。即ち、カートへ入れた商品と同時購入すべき商品又は一般に同時に購入される傾向の

強い商品（関連商品）を図18に示すように表示し、ユーザーの注文忘れを防止する。ユーザーは、表示された商品について、購入するか否かを判断し、処理を進める。

【0085】商品の選択が終了すると、或いは、商品の選択の途中で、ユーザーは適宜、「カートの中身」のページを参照することにより、図17に示すような現在の購入状態を確認することができる。ショッピングサーバ15は、「カートに入れる」が指定された商品とその数量及び単価（提供価格）に基づいて、図17に示す画面を作成する。

【0086】ユーザーが、カートの中身を確認し、商品を注文する場合には、「ご注文手続きへ」をクリックする。すると、事前登録に基づいて、届け先と支払い方法とを確認する表示が成される。ユーザーが、内容を確認し、「go」をクリックすると、届け先と決済方法が確定し、それぞれ必要な処理を行う。

【0087】例えば、購入された商品、個数、単価、発送先等を特定する情報を印刷した注文書を印刷して出力する。また、購入された商品や購入態様を、売上DB25に登録する。この売上情報は、例えば、当日の夜にバッチ処理で管理DB23に収集される。管理サーバ13は、収集したデータに基づいて、各ユーザーの所有装置の情報、同時に販売される商品に関する情報を更新する。

【0088】また、購入者が法人の場合、オンラインショッピングでの売上げを、担当店舗での売上げと合算して請求書を形成する必要がある。このため、管理サーバ13は、オンラインショッピングでの売り上げ情報を、担当店舗に伝送する。その店舗では、請求DB213上で、その顧客用の請求の中に、管理サーバ13から提供された情報を追加する。この際、オンラインショッピングでの売り上げであることを示すフラグをオン（オンライン？YES）する。

【0089】この結果、各店舗端末11は、各顧客に、店舗での販売の請求とオンラインショッピングでの販売の請求とが混在する請求書を発行する。なお、請求書の形式は任意であり、例えば、請求額は店舗での販売額とオンラインショッピングでの販売額との合計値でもよく、或いは、店舗での販売による請求（又は明細）とオンラインショッピングでの販売による請求明細とを明確に区分してもよい。

【0090】管理サーバ13は、例えば、定期的に、売上マスタDB234の内容をチェックし、関連商品マスタDB233の内容を更新する。即ち、管理サーバ13は、売上マスタDB234に登録されている過去一定期間内の売上履歴（販売履歴）をチェックし、同時に販売している商品を抽出する。そして、統計処理により、一方の商品を販売した時に、他方の商品が販売できる確率が基準値、例えば、5%以上となる商品の組み合わせを抽出する。そして、抽出した商品の組を関連商品マスタ

DB233に登録する。更新された関連商品マスタDB233は、必要部分がショッピングDB25内の関連商品DB257に複製され、次に、ユーザーがオンラインショッピングである商品をショッピングカートに入れた時点で参照される。

【0091】以上説明したように、この実施の形態によれば、ユーザーは、既存の販売店・サービス店でのサービスや、訪問販売のサービスを享受しつつ、オンラインショッピングのサービスを享受することができる。しかも、店舗取引を介して顧客に設定された割引率などのサービス内容が、オンラインショッピングでも生かされる。

【0092】また、ユーザーの購入履歴に基づいて、ユーザーが購入して所持している商品で使用する消耗品やオプション製品を判別して、ユーザーに提示する。従って、ユーザーは、複雑な手続きを経ることなく、消耗品やオプションを購入することができる。さらに、消耗品やオプションを購入する際に、商品の選択が非常に容易である。

【0093】また、何らかの商品を購入した際に、関連商品が提示されるので、購入漏れを防止できる。

【0094】また、ログインする際の情報として、法人（事業体）の場合には、事業体自体にID（企業ID）を付与し、さらに、その中で、購入などを担当する人のIDとパスワードとを設定する。一般に、企業にIDとパスワードとを付与し、これを企業内で単純に使用する場合には、これらの情報が外部に容易に漏れてしまい、悪意の第三者が不正を働く原因にもなりうる。しかし、この実施の形態では、パスワードは購入担当者個人のパスワードとなるので、IDやパスワードが外部に漏れるおそれが小さい。また、法人の担当者として商品を購入する場合と、個人として商品を購入する場合とを明確に区別することが可能である。

【0095】さらに、販売店網での取引を有する事業体がオンラインショッピングで商品を購入した場合の請求を、販売店からの請求で一本化したことにより、顧客が2箇所からの請求を受ける不都合・不便を防止できる。

【0096】なお、この発明は上記実施の形態に限定されず、種々の変形及び応用が可能である。例えば、上記実施の形態では、物品を販売するための販売店システムとオンラインショッピングシステムとを融合させたが、販売の対象は任意であり、例えば、ディジタルコンテンツ（映像、音楽等）、サービス等を提供するための販売店システムとオンラインショッピングシステムに同様のシステムを適用することも可能である。

【0097】また、上記実施の形態では、商品を「本体」、「オプション」、「消耗品」の3つの種類に分類したが、分類手法は任意であり、主となる商品とそれに從属する商品とに任意に区分することができる。

【0098】また、サーバやDBの構成は、任意に変更可能である。例えば、図1及び図2では、理解を容易に

するため、各店舗に店舗端末11が1台設置されているように、説明したが、各店舗にLANなどに接続された複数台の店舗端末を設置してもよい。管理サーバ13及びショッピングサーバ15も、協働して動作する複数台のサーバから構成されてもよい。さらに、DBの構成も上記構成に限定されず、2以上のDBを統合してもよく、或いは、1つのDBを機能的に複数に分割してもよい。また、重複するデータについては、削除してもよい。例えば、上記実施の形態では、関連商品マスタDB233に、本体とオプション及び消耗品との関係を設定せず、これらの関係については、商品マスタDB231の内容から特定するようにしてもよい。

【0099】また、関連商品マスタDB233を配置せず、関連商品に関する情報は関連商品DB257で処理するようにしてもよい。同様に、商品マスタDB231には、商品のリンク情報を持たせず、商品DB254だけにリンク情報を設定してもよい。

【0100】さらに、上記実施の形態においては、各販売店の営業員が顧客DB211に設定した推奨商品やメッセージをホームページ上に設定するようにしたが、営業員がショッピングDB25に直接アクセスして、推奨商品やメッセージを登録してもよい。また、これらの情報を記載した電子メールをショッピングサーバに送信し、電子メールから必要事項を切り出して、ホームページ上に掲載するようにしてもよい。さらに、顧客区分に基づく割引率などに関しては、店舗販売とオンラインショッピングでは、率を異ならせてもよい。

【0101】コンピュータ又はコンピュータ群を、上述のシステムとして機能させ、或いは、上述の工程を実行するために必要なプログラムの全部又は一部を、記録媒体(ROM、フロッピー(登録商標)ディスク、ハードディスク、CD-ROM、MO、CD-R、フラッシュメモリ)等に記録して配布・流通させてもよい。

【0102】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、顧客が所有する商品の関連商品を適切に推奨することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る販売オンラインショッピングシステムの構成を示す図である。

【図2】各店舗に設置される店舗端末及び店舗DBの構成を示す図である。

【図3】(a)は、店舗DB内の顧客DBの構成を示す図であり、(b)は、店舗DB内の売上DBの構成を示す図であり、(c)は、店舗DB内の請求DBの構成を示す図である。

【図4】管理サーバ及び管理DBの構成を示す図である。

【図5】(a)は、管理DB内の商品マスタDBの構成を示す図であり、(b)は、管理DB内の顧客マスタDBの構成を示す図であり、(c)は、管理DB内の関連商品マスタDBの構成を示す図である。

【図6】ショッピングサーバ及びショッピングDBの構成を示す図である。

【図7】ショッピングDB内のネット会員DBの構成を示す図である。

【図8】ショッピングサーバが提供する、オンラインショッピングのログイン画面の例を示す図である。

【図9】ログイン時に、ショッピングサーバが実行する処理を説明するためのフローチャートである。

【図10】ログイン後に表示される、顧客用に編集されたページの一例を示す図である。

【図11】オンラインショッピングで、本体を選択するための画面の一例を示す図である。

【図12】オンラインショッピングで、複写機を選択するための画面の一例を示す図である。

【図13】オンラインショッピングで、オプションを選択するための画面の一例を示す図である。

【図14】オンラインショッピングで、消耗品を選択するための画面の一例を示す図である。

【図15】オンラインショッピングで、商品区分が「本体」にあたるデジタルカメラの、オプションを選択するための画面の一例を示す図である。

【図16】オンラインショッピングで、商品をショッピングカートに入れた際に、ショッピングサーバが実行する処理の一例を示す図である。

【図17】ショッピングカートの中身を確認するための画面の一例を示す図である。

【図18】オンラインショッピングで、関連商品を推奨する画面の一例を示す図である。

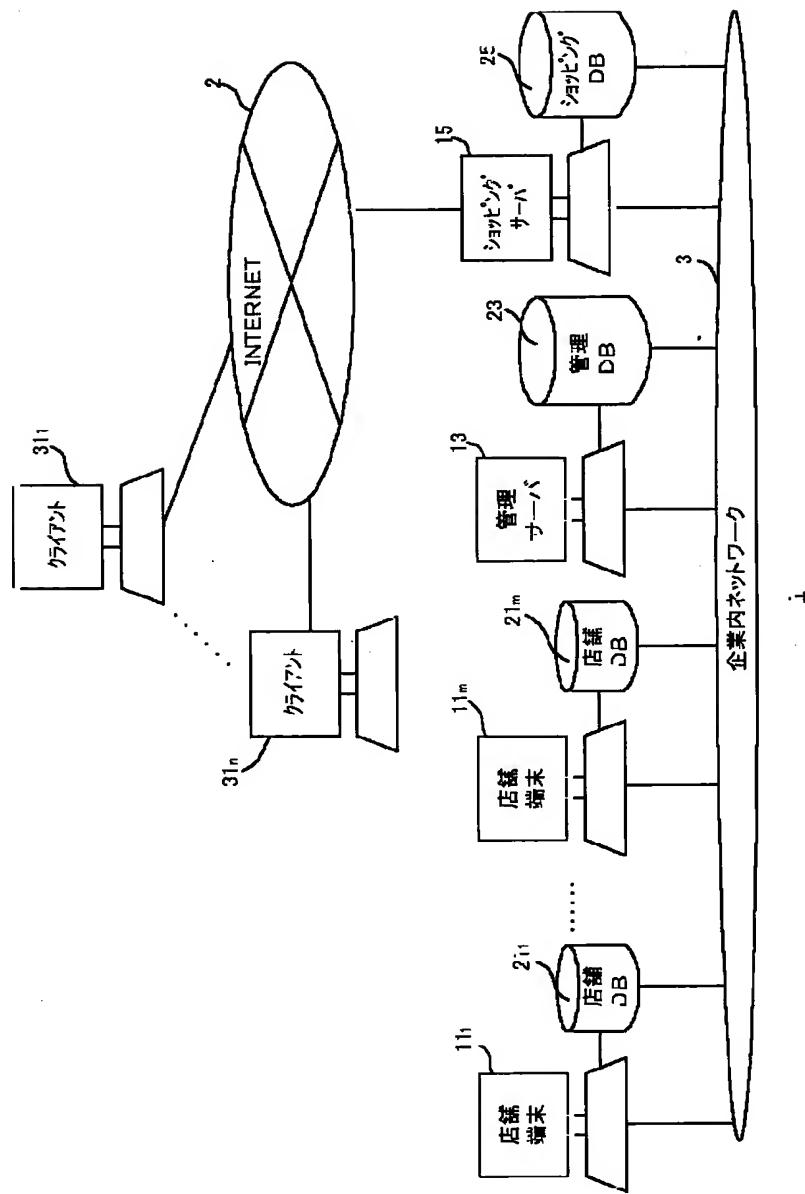
【符号の説明】

1 企業内ネットワークシステム

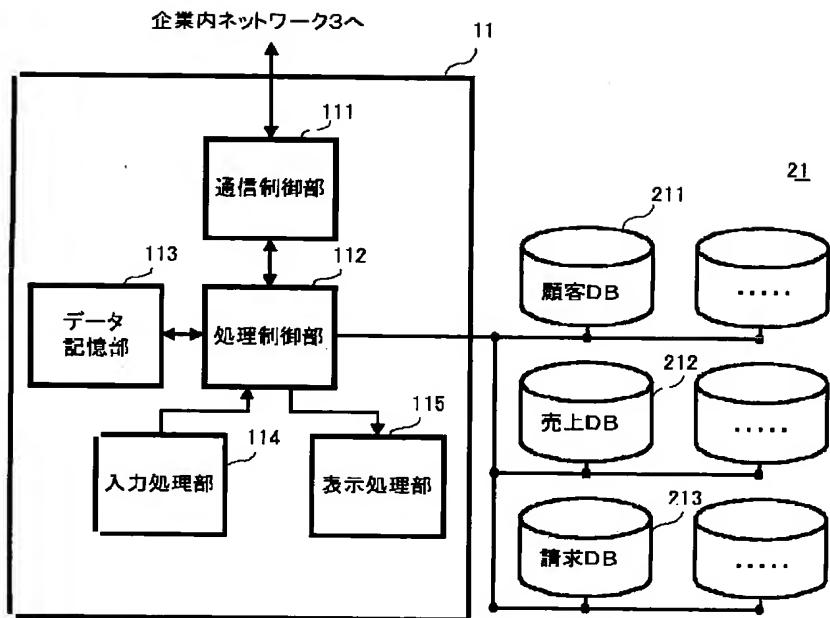
2 インターネット

3 企業内ネットワーク

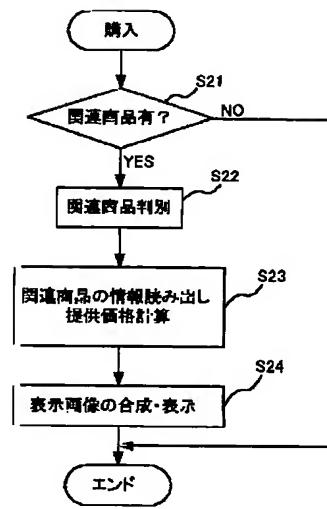
【図1】



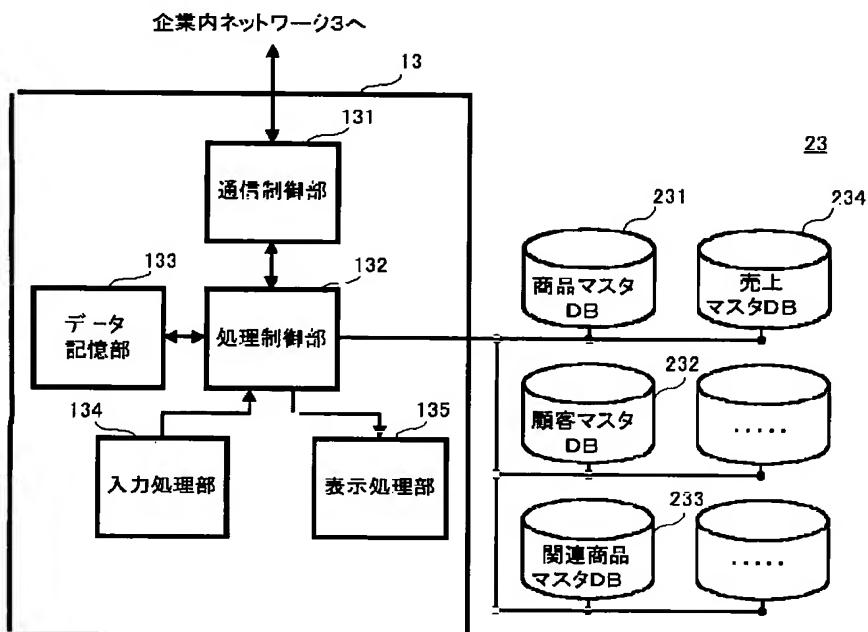
【図2】



【図16】



【図4】



【図3】

壳上DB212

請求DB213

ID:01001 理工太郎様 1月分				担当 山田豊		
日付	商品	数量	ご提供価格	御担当者 (法人の場合)	ネット?	---
1/1	A123	1	1,100,000	内田満	NO	---
1/2	B321	2	2,345	林茂	YES	---
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【四七】

【图8】

ログイン名 (ご登録のE-mailアドレス)	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
法人ID	<input type="text"/>
送信	クリア

おすすめ商品

 高 速 コピーなら	 家庭用 カラー	 証明! きれい!
 超高速	 超ポータブル	 大容量
実感!		高 速

【図17】

カードの中身

現在のポイント数: 25000 point

在庫カードに入っている商品					
商品名	商品コード	数量	ポイント	単価	計
プリンタ P900	100048	2	10000	¥200,000	¥800,000
スキャナー S900	100070	2	10000	¥100,000	¥200,000
CD-R/RW F90	100074	1	10000	¥100,000	¥100,000
合計					¥900,000
消費税及び送別料は別途申し受けます。					[合計]

ネット会員DB251

【図5】

商品マスタDB231

コード	商品名	商品説明	基準価格	商品区分	リンク情報
A123	今塩123	コピー	987,654	本体	オプションB991 消耗品C203
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
C203	戸名203	トナー	9,876	消耗品	A123,A246
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

顧客マスタDB232

ID	名称	住所	法人/ 個人	顧客 区分	営業 担当者	推奨商 品	営業 メッセージ	所有商品
00001	理工太郎	港区....	法人	A	山田豊	A123	理工太郎さん こんにち....	A003 A172
00002	今塩二朗	大田区...	法人	A	高田香	A223	今塩二郎さん いつも...	A321 A234
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

関連商品マスタDB233

デジタルカメラX66 / : プリンタY2234
画像ソフトZ90 : CD-ROMドライバQ741
スキヤナMM2 : 編集ソフトPP23
.....

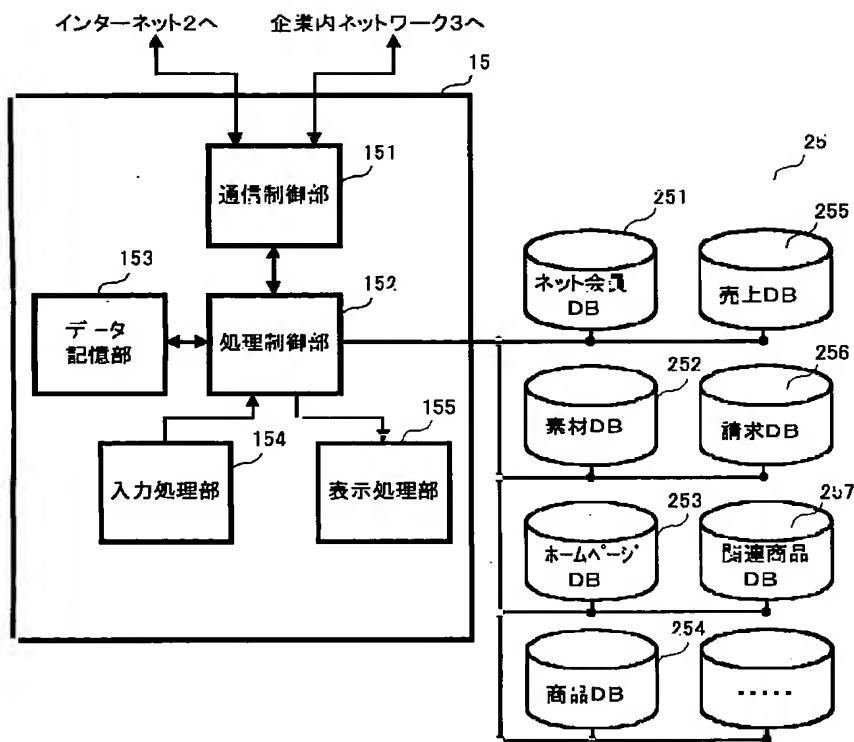
デジタルカメラX66 / : ケーブルワイヤP345
デジタルカメラX66 / : 画像ソフト工房
デジタルカメラX66 / : フラッシュメモリ F2
.....

【図15】

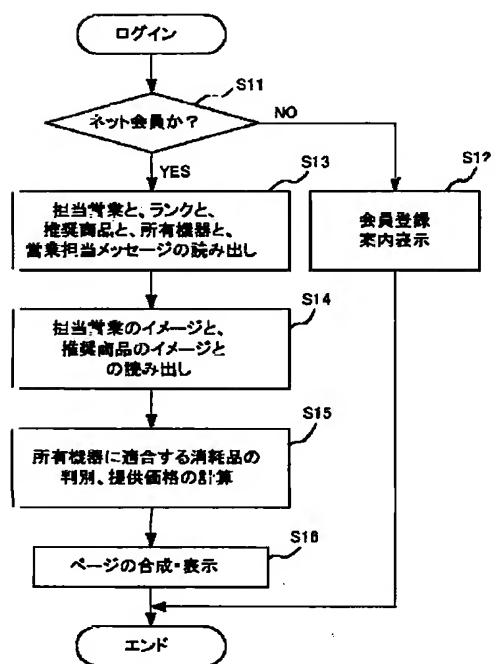
オンラインショッピング	
その他製品のオプション品	
<input type="checkbox"/> Go	
該当する製品を選択してください。	
<ul style="list-style-type: none"> • RDC-5000 • RDC-5300 • RDC-5300 • UC 4 • UC 4 • UC 4 	

(ご案内)当サイトでお取扱いのない商品については、担当セールス、
又は、info@net-mail.co.jpまでお問い合わせください。

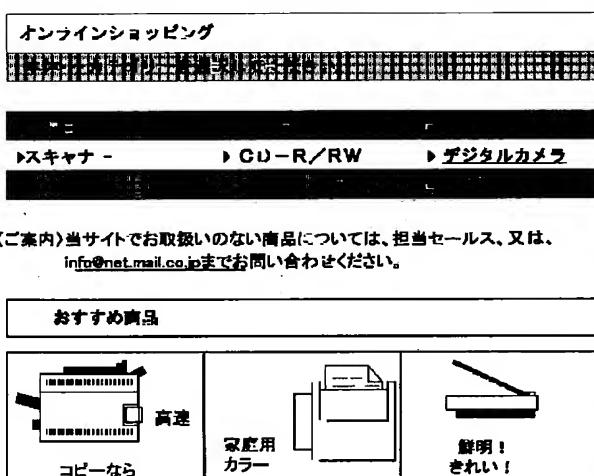
【図6】



【図9】



【図11】



【図10】

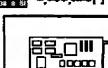
- ・ 本体
- ・ オプション
- ・ 消耗品
- ・ 情報提供サービス

▶ ご注文の前に
▶ お支払い方法

- ニュース
- ▶ My Choice
- ▶ 全社

- Onlineについて
- ▶ Vision
- ▶ ご利用方法
- ▶ 規約
- ▶ プライバシーポリシー
- ▶ セキュリティーポリシー
- ▶ 著作権リンク

【図18】

<p>理工太郎様</p> <p>おはようございます。 オフィスのアナログコピー機が買い換える時期になりました。レーザープリンタとしても使えるデジタル複合コピーはいかがでしょう？</p>	<p>おすすめ商品</p>	<p>オンラインショッピング</p> <p>一緒にオノショーンはいかがでしょうか？ <input checked="" type="checkbox"/> 表示価格には消費税は含まれません。</p> <p>ユーティリティソフト(パソコン接続キット)</p> <p>通常価格 ￥1,000,000円 特別価格 ￥800,000円</p>
 <p>高速 コピーなら</p>	 <p>家庭用 カラー</p>	 <p>鮮明！ きれい！</p>
<p>ご使用機器の消耗品</p>		<p>PCカードアダプター</p> <p>通常価格 ￥1,000,000円 特別価格 ￥800,000円</p>
<p>■ご購入いただいたいる商品</p> <p>ご購入は  ドンをクリックしてください。 ご提供価格には消費税は含まれません。</p>		 <p>本体のページへ</p>
<p>コピー消耗品 A4Y目 1ケース250×5冊 ご提供価格6,000円</p>		<p>(ご案内)当サイトでお取扱いのない商品については、担当セールス、又は、info@onoshion.co.jpまでお問い合わせください。</p>
<p>A3Y目 1ケース250×5冊 ご提供価格7,000円</p>		
<p>コピー消耗品 A4T目 1ケース500×5冊 ご提供価格5,500円</p>		
<p>トナーカートリッジ A4Y目 1ケース1本 ご提供価格5,000円</p>		
<p>■適合商品</p>		
<p>A4Y目 1ケース500×5冊 ご提供価格6,750円</p>		

【図13】

〔図14〕

オンラインショッピング

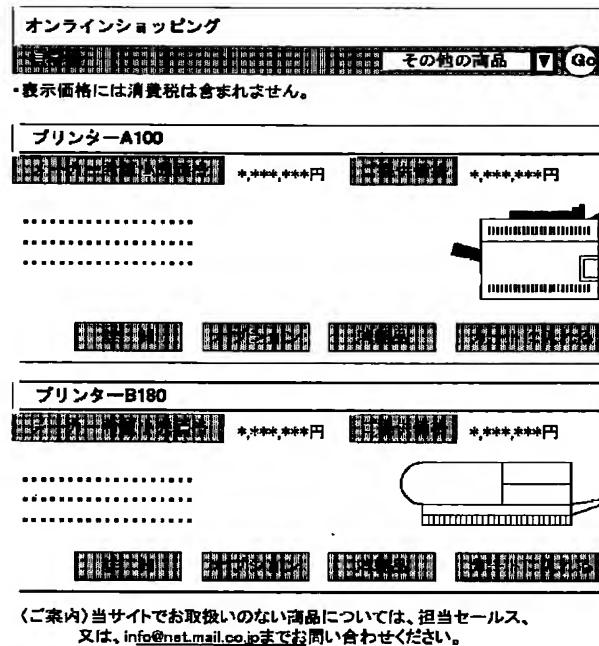
▶ FAXトナー ▶ インクジェットインク ▶ プリンタリボン
 ▶ 王の道 ▶ 南品コードで探す…

(ご案内)当サイトでお取扱いのない商品については、担当セールス、又は、
info@net.mail.co.jpまでお問い合わせください。

おすすめ商品

 高速 コピーなら	 家庭用 カラー	 鮮明！ きれい！
--	---	--

【図12】



フロントページの続き

(72)発明者 福留 司 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内	(72)発明者 篠原 英二 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
(72)発明者 鳥飼 辰登 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内	(72)発明者 西田 明宏 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
(72)発明者 細田 博 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内	(72)発明者 三角 幸子 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
(72)発明者 白井 康之 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内	(72)発明者 東前 卓也 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
	(72)発明者 大野 芳明 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
	F ターム(参考) 5B049 BB11 CC05